

## 【 新宿区 】 胃がん検診 平成26年度プロセス指標等一覧シート

## &lt; 国の指針に基づく胃がん検診の実施状況 &gt;

対象年齢 (40歳以上)	している
検査方法 (胃部X線検査)	している

## &lt; 住民の検診受診状況 &gt;

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口	81,410	88,809	170,219
【東京都調査による対象者率(区部): 60.5%】			
実際の受診者数	5,235	6,729	11,964

## &lt; 国の指針に基づくもの以外の実施状況 &gt;

対象年齢以外の実施	35～39歳
左記以外の検査の実施	していない

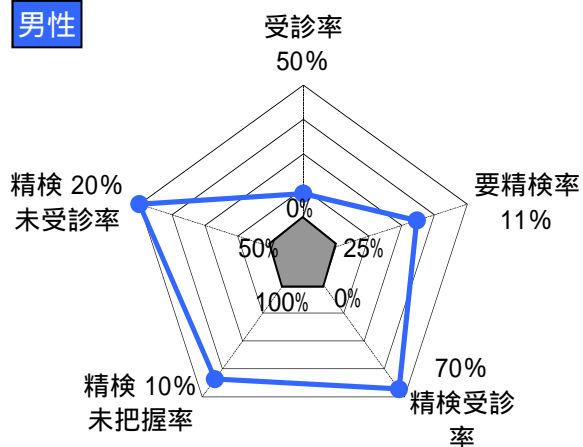
## &lt; 区市町村の受診率向上(精検含む)体制 &gt;

対象者の名簿を作成して台帳管理	している
個別に受診勧奨	一部該当
過去3年間の受診歴を記録	している
精検未受診者への精検受診勧奨	一部該当

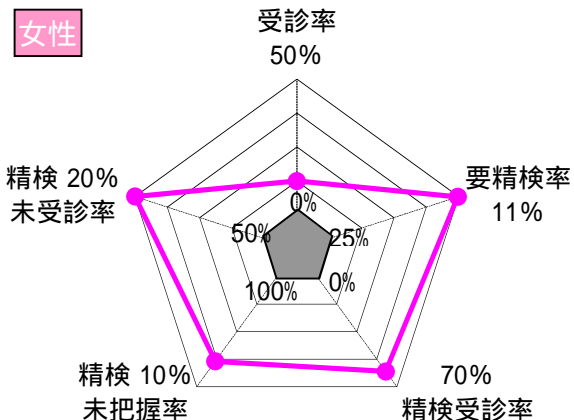
## &lt; がん検診の質を評価する指標(プロセス指標) &gt;

	あるべき値 (許容値等)	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%	10.6%	12.5%	11.6%
要精検率	11%以下	16.4%	11.1%	13.4%
精検受診率	70%以上	65.2%	60.3%	62.9%
精検未把握率	10%以下	24.2%	30.7%	27.2%
精検未受診率	20%以下	10.6%	9.0%	9.9%
陽性反応適中度	1.0%以上	1.5%	0.4%	1.0%
がん発見率	0.11%以上	0.25%	0.04%	0.13%

## 男性



## 女性



## 【評価結果】

## &lt; 受診率 &gt;

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

## &lt; 要精検率 &gt;

要精検率が高くなるほど、「要精検」といわれたが実際にはがんではなかった方（偽陽性）の割合が増える可能性があり、受診者に身体的・経済的・精神的負担をかけるなど、検診の不利益が拡大する恐れがあります。また、受診者特性の変化により要精検率が高くなる場合もあります。

## &lt; 精検受診率 &gt;

まずは許容値以上となるように、精検受診勧奨を行ってください。

## &lt; 精検未把握率 &gt;

高めの精検未把握率です。自治体が行う対策型検診として、事業評価のために『要精検』となった方々のその後の状況把握が必要です。

## 【 新宿区 】 肺がん検診 平成26年度プロセス指標等一覧シート

## &lt; 国の指針に基づく肺がん検診の実施状況 &gt;

対象年齢 (40歳以上)	している
検査方法 (胸部X線検査及び喀痰細胞診)	している

## &lt; 住民の検診受診状況 &gt;

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口	81,410	88,809	170,219
【東京都調査による対象者率(区部) : 66.6%】			
実際の受診者数	6,597	8,478	15,075

## &lt; 国の指針に基づくもの以外の実施状況 &gt;

対象年齢以外の実施	していない
左記以外の検査の実施	していない

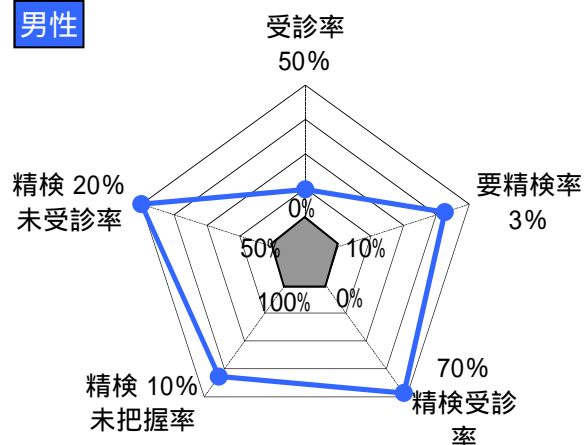
## &lt; 区市町村の受診率向上(精検含む)体制 &gt;

対象者の名簿を作成して台帳管理	している
個別に受診勧奨	一部該当
過去3年間の受診歴を記録	している
精検未受診者への精検受診勧奨	一部該当

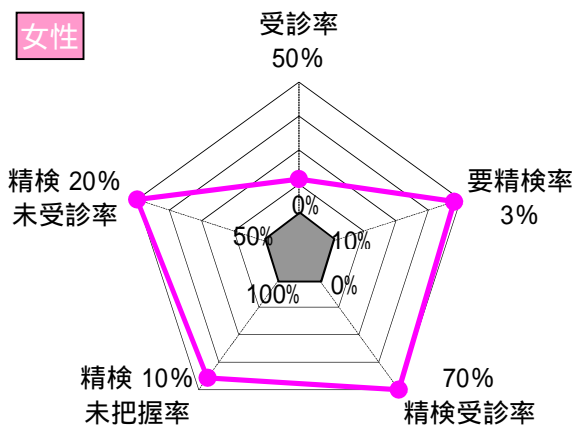
## &lt; がん検診の質を評価する指標(プロセス指標) &gt;

	あるべき値 (許容値等)	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%	12.2%	14.3%	13.3%
要精検率	3%以下	4.3%	3.3%	3.8%
精検受診率	70%以上	67.6%	75.4%	71.5%
精検未把握率	10%以下	26.4%	19.7%	23.1%
精検未受診率	20%以下	6.0%	4.9%	5.5%
陽性反応適中度	1.3%以上	1.4%	0.4%	0.9%
がん発見率	0.03%以上	0.06%	0.01%	0.03%

## 男性



## 女性



## 【評価結果】

## &lt; 受診率 &gt;

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

## &lt; 要精検率 &gt;

要精検率が高くなるほど、「要精検」といわれたが実際にはがんではなかった方(偽陽性)の割合が増える可能性があり、受診者に身体的・経済的・精神的負担をかけるなど、検診の不利益が拡大する恐れがあります。また、受診者特性の変化により要精検率が高くなる場合もあります。

## &lt; 精検受診率 &gt;

まずは許容値以上となるように、精検受診勧奨を行ってください。

## &lt; 精検未把握率 &gt;

精検未把握率が許容値達成まであと一歩です。自治体が行う対策型検診として、事業評価のために『要精検』となった方々のその後の状況把握を進めましょう。

## 【 新宿区 】 大腸がん検診 平成26年度プロセス指標等一覧シート

## &lt; 国の指針に基づく大腸がん検診の実施状況 &gt;

対象年齢 (40歳以上)	している
検査方法 (便潜血検査(二日法))	している

## &lt; 住民の検診受診状況 &gt;

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口	81,410	88,809	170,219
【東京都調査による対象者率(区部) : 66.3%】			
実際の受診者数	7,999	11,642	19,641

## &lt; 国の指針に基づくもの以外の実施状況 &gt;

対象年齢以外の実施	35～39歳
左記以外の検査の実施	していない

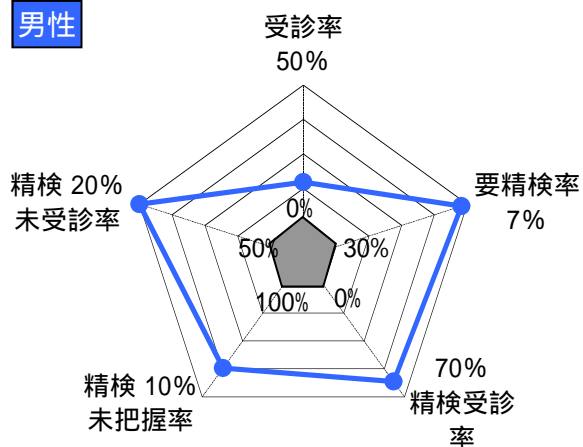
## &lt; 区市町村の受診率向上(精検含む)体制 &gt;

対象者の名簿を作成して台帳管理	している
個別に受診勧奨	一部該当
過去3年間の受診歴を記録	している
精検未受診者への精検受診勧奨	一部該当

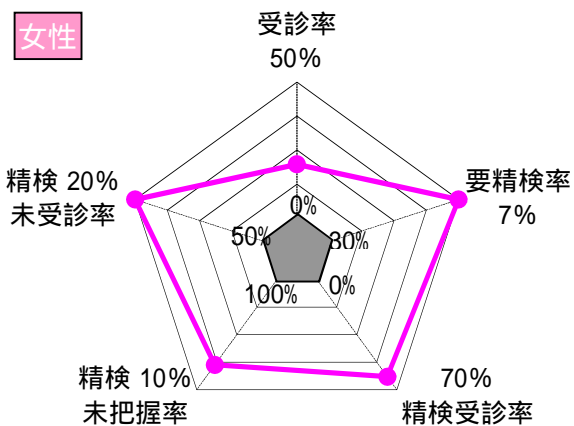
## &lt; がん検診の質を評価する指標(プロセス指標) &gt;

	あるべき値 (許容値等)	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%	14.8%	19.8%	17.4%
要精検率	7%以下	8.0%	5.9%	6.8%
精検受診率	70%以上	60.4%	61.8%	61.1%
精検未把握率	10%以下	33.2%	30.2%	31.7%
精検未受診率	20%以下	6.4%	8.0%	7.2%
陽性反応適中度	1.9%以上	3.9%	3.3%	3.6%
がん発見率	0.13%以上	0.31%	0.20%	0.24%

## 男性



## 女性



## 【評価結果】

## &lt; 受診率 &gt;

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

## &lt; 要精検率 &gt;

要精検率が高くなるほど、「要精検」といわれたが実際にはがんではなかった方(偽陽性)の割合が増える可能性があり、受診者に身体的・経済的・精神的負担をかけるなど、検診の不利益が拡大する恐れがあります。また、受診者特性の変化により要精検率が高くなる場合もあります。

## &lt; 精検受診率 &gt;

まずは許容値以上となるように、精検受診勧奨を行ってください。

## &lt; 精検未把握率 &gt;

精検未把握率が非常に高く、自治体が行う対策型検診としての事業評価が困難です。『がん検診精度管理向上の手引き』等を参考にして問題点を整理し、精密検査結果の把握方法を検討してください。

## 【 新宿区 】 子宮頸がん検診 平成26年度プロセス指標等一覧シート

## &lt; 国の指針に基づく子宮頸がん検診の実施状況 &gt;

対象年齢 (20歳以上:隔年)	している
検査方法 (細胞診)	している

## &lt; 住民の検診受診状況 &gt;

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口		144,029	
【東京都調査による対象者率(区部): 63.7%】			
実際の受診者数		7,783	

## &lt; 国の指針に基づくもの以外の実施状況 &gt;

対象年齢以外の実施	していない
左記以外の検査の実施	していない

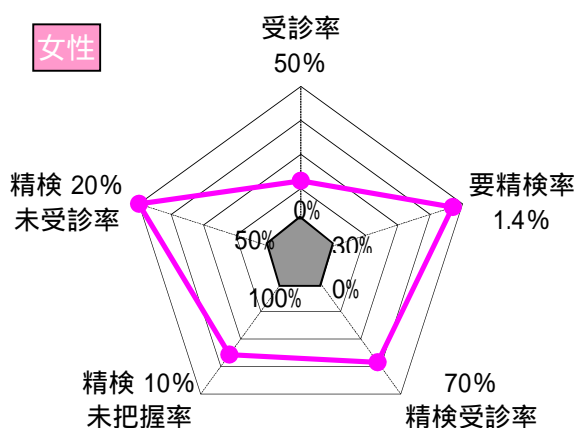
## &lt; 区市町村の受診率向上(精検含む)体制 &gt;

対象者の名簿を作成して台帳管理	している
個別に受診勧奨	一部該当
過去3年間の受診歴を記録	している
精検未受診者への精検受診勧奨	一部該当

## &lt; がん検診の質を評価する指標(プロセス指標) &gt;

	あるべき値 (許容値等)	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%		15.3%	
要精検率	1.4%以下		3.6%	
精検受診率	70%以上		49.8%	
精検未把握率	10%以下		42.2%	
精検未受診率	20%以下		7.9%	
陽性反応適中度	4.0%以上		1.1%	
がん発見率	0.05%以上		0.04%	

## 【評価結果】



## &lt; 受診率 &gt;

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

## &lt; 要精検率 &gt;

要精検率が高くなるほど、「要精検」といわれたが実際にはがんではなかった方(偽陽性)の割合が増える可能性があり、受診者に身体的・経済的・精神的負担をかけるなど、検診の不利益が拡大する恐れがあります。また、受診者特性の変化により要精検率が高くなる場合もあります。

## &lt; 精検受診率 &gt;

まずは許容値以上となるように、精検受診勧奨を行ってください。

## &lt; 精検未把握率 &gt;

精検未把握率が非常に高く、自治体が行う対策型検診としての事業評価が困難です。『がん検診精度管理向上の手引き』等を参考にして問題点を整理し、精密検査結果の把握方法を検討してください。

## 【 新宿区 】 乳がん検診 プロセス指標等一覧シート

## &lt; 国の指針に基づく乳がん検診の実施状況 &gt;

対象年齢 (40歳以上:隔年)	している
検査方法 (視触診及びマンモグラフィ)	している

## &lt; 住民の検診受診状況 &gt;

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口		88,809	
【東京都調査による対象者率(区部): 72.3%】			
実際の受診者数		8,119	

## &lt; 国の指針に基づくもの以外の実施状況 &gt;

対象年齢以外の実施	していない
左記以外の検査の実施	していない

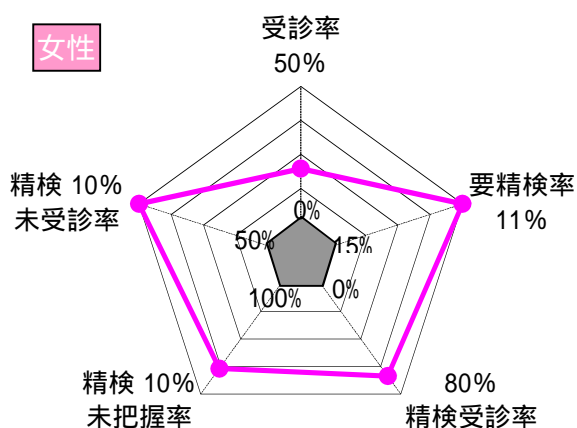
## &lt; 区市町村の受診率向上(精検含む)体制 &gt;

対象者の名簿を作成して台帳管理	している
個別に受診勧奨	一部該当
過去3年間の受診歴を記録	している
精検未受診者への精検受診勧奨	一部該当

## &lt; がん検診の質を評価する指標(プロセス指標) &gt;

	あるべき値 (許容値等)	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%		19.7%	
要精検率	11%以下		10.1%	
精検受診率	80%以上		67.0%	
精検未把握率	10%以下		30.8%	
精検未受診率	10%以下		2.2%	
陽性反応適中度	2.5%以上		3.5%	
がん発見率	0.23%以上		0.36%	

## 【評価結果】



## &lt; 受診率 &gt;

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

## &lt; 精検受診率 &gt;

まずは許容値以上となるように、精検受診勧奨を行ってください。

## &lt; 精検未把握率 &gt;

精検未把握率が非常に高く、自治体が行う対策型検診としての事業評価が困難です。『がん検診精度管理向上の手引き』等を参考にして問題点を整理し、精密検査結果の把握方法を検討してください。